

観光・スポーツ分野

目標 ～にぎわいと感動の創出～

- 観光交流都市・姫路にふさわしい「おもてなし」による交流人口の**拡大**と、**観光産業の振興**を通じた地域経済の活性化を目指します。
- 市民が様々な形でスポーツに参加し、「こころ」と「からだ」を健全に育むとともに、スポーツ資源を活かした地域コミュニティの活性化とまちの新たな魅力の創出を目指します。

【背景】

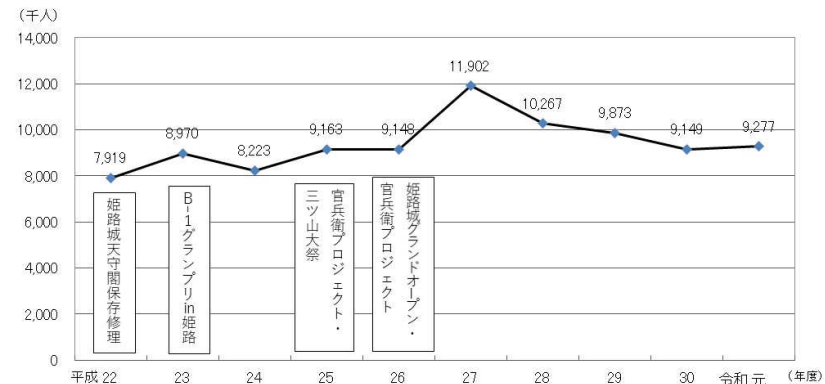
(観光関連)

- 世界文化遺産・姫路城を有する本市は、市民、事業者、行政が一体となって観光客の受入環境を充実させるとともに、多彩な観光資源を活かした施策や広域観光などの取組により、国内外から**多くの観光客が訪れる**(※1)観光都市として、広く知られています。
- 現在、本市では、姫路市文化コンベンションセンターの着実な整備を進めるとともに、手柄山周辺の施設整備などを予定しており、新たに整備される施設等をまちの新たな魅力として発信し、交流人口の拡大につなげる施策の展開が求められています。
- 観光産業は、すそ野の広い総合産業として、需要拡大や雇用創出など、地域経済を支える役割が期待されており、**訪日外国人の増加**(※2)などの好機を捉え、本市においても、観光消費を着実に取り込み、地域経済の発展に資する仕組みを構築する必要があります。一方で、**新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外の観光客の動きが大幅に低下しており、事業の継続に向けた支援が求められています。**

(スポーツ関連)

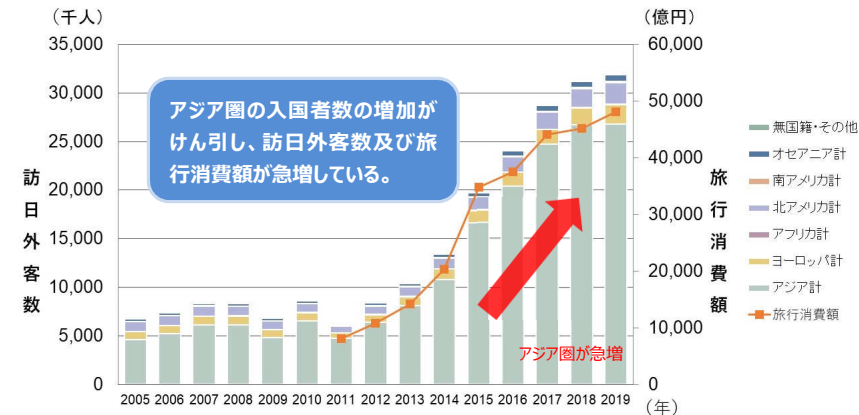
- 平均寿命の延伸に伴い余暇時間が増加するとともに、健康に対する関心が高まっています。また、市内各地域においても、地域スポーツクラブの設置等によりスポーツに触れることができる機会が増加しています。
- 国内では、東京 2020 オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会やワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催などにより、スポーツの気運が高まっています。
- 本市では、市内外から**多数の参加者を集める世界遺産姫路城マラソンの開催**(※3)をはじめ、本市を活動拠点としたトップスポーツチームの設立などの好機を活かし、スポーツを通じたまちの新たな魅力づくりに取り組んでいます。

※1 姫路市の総入込客数



(資料) 姫路市入込客数・観光動向調査 (平成 31 年度・令和元年度)

※2 訪日外客数(地域別)・訪日外国人消費額



(資料) 日本政府観光局「訪日外客数の動向」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より作成

※3 世界遺産姫路城マラソンの出走者数の推移

(単位: 人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
マラソン	5,725	7,370	7,294	7,258	中止
ファンラン	3,407	3,817	4,166	4,759	
合計	9,132	11,187	11,460	12,017	

(資料) 市政の概要 (令和元年版) より作成